

経済学専攻 遠隔試験の実施について

1. 遠隔試験の方法

- (1) 遠隔試験は全て Skype を用いた口述試験として実施します。Skype のアプリをダウンロードし、アカウントを設定しておいてください。出願時に「Skype 名」および E メールアドレスを連絡してください。
- (2) 口述試験中の間の通信環境や静かな環境（同室内に他者がいないこと）の確保は出願者本人の責任で準備してください。なお、通信の不良により中断した場合は、口述試験時間について公平になるよう配慮します。
- (3) 口述試験は、研究テーマや研究計画等の適切性や研究遂行能力を問う部分（一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜、短期（1年）在学型選抜、学内推薦特別選抜）と専門知識を問う部分（一般選抜、外国人留学生特別選抜のみ）からなります。専門知識を問う口述試験は、入学志願票の筆記試験選択科目欄に記入した専門科目について、募集要項に示す出題範囲に関するものを問います。

2. 試験時間について

口述試験を複数回に分けて、場合によっては 2 日間に分けて行うこともあり得ますので、試験時にはいつでも応答できるようにしてください。口述試験の時間帯や事前の通信テスト等詳細については、出願後 E メール等で連絡します。見落とさないよう注意してください。

3. 提出書類について

- ・ 出願書類として、募集要項に示したものの他、別紙の書式に記入したのもも提出してください。
- ・ 一般選抜、外国人留学生特別選抜に出願する者は、入学志願票の筆記試験選択科目欄に選択する専門科目名を記入し提出してください。選択した専門科目について、筆記試験は行いませんが、専門知識を問う口述試験を行います。
- ・ 募集要項では、一般選抜に関して、試験当日に TOEIC (L&R) 等英語検定試験の成績に関する証明書原本の持参を求めています。今年度はこの証明書提示は不要とします。

4. 注意事項

- (1) 口述試験時には、出願書類以外のものの参照を認めません。文献資料・辞書類等のほか、通信機器による情報検索や他者からの情報入手も認めません。また、口述試験の録音・録画は禁止します。
- (2) 口述試験での出題内容（問われたこと、提示されたもの）について、合格者発表まで一切の口外（メール、SNS 等を含む）を禁止します。試験内容が漏洩されると、後の時間帯の受験者を利することになり、自らの不利となります。漏洩が発覚した場合、発信者・受信者ともに失格とします。

*上記の指示に反する場合は失格とし、入学後に不正が判明した場合は入学取り消しとします。